

令和6年度かながわ学びづくり推進地域研究委託受託地区の取り組み【藤沢市】

【研究テーマ】 「児童・生徒一人ひとりに応じた指導・支援の充実」

今年度は、高倉中学校区（高倉中学校・長後小学校）において、義務教育9年間を見据えた子どもたちの学びに目を向け、児童生徒の主体的な学びにつながるよう研究を進めています。

各学校では、一人ひとりに応じた指導・支援が充実していくよう、児童生徒の実態に応じて、研究テーマを設定し、校内研究に積極的に取り組んでいます。また、小・中学校間で公開授業や研修会への参加等での交流を深め、地域の実態や児童生徒の課題を踏まえた小・中学校の連携を進めています。



| | 高倉中学校 | | 長後小学校 |
|------|---|------|--|
| テーマ | <p>「すべての生徒が学ぶ喜びを実感でき、探究する授業づくり ～教科を超えてつくる学びの共同体～」</p> <p>「生徒が学びに向かう」「授業を生徒の居場所に」という教師の願いのもと、教師が生徒の実態をしっかりと見取る力を付け、生徒・保護者との信頼関係を築きながら、必要な指導、支援を授業に取り入れたい。また、生徒相互の関係を築きながら「主体的・対話的で深い学びに向けた授業づくり」「わかりやすく楽しい授業づくり」につながるよう研究する。</p> | テーマ | <p>「ともにのびゆく長後っ子 ～関わり合い、伝え合い、学び合い～」</p> <p>○低学年・ちようこ級 「関わり合う楽しさ」 相手の思いや考えを知る 自分の思いや考えを伝える</p> <p>○中学年 「伝え合う喜び」 相手の思いや考えがわかる 自分の思いや考えが伝わる</p> <p>○高学年 「学び合うおもしろさ」 互いの思いや考えが広がる 互いの思いや考えが深まる</p> <p>このような姿を目指し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行う。</p> |
| 研究内容 | <p>①生徒一人ひとりに応じた指導・支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の様子を丁寧に見取り、必要な指導・支援につなげるための研修の実施。 ・教育的ニーズに必要な指導や支援を行うため、学年会、指導会議、支援会議を充実させる。 ・生徒のニーズの把握のため、生徒・保護者との良好な信頼関係を構築する。 <p>②生徒が学びに向かう、授業を生徒の居場所にするための授業づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土台づくり・・・教室環境、授業のルール、リーダーの育成など ・授業づくり・・・PDCAサイクルに沿った学び、教師間の学び合いなど | 研究内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・研究推進担当者を中心として部会相互の情報共有を行い、研究の充実を図る。 ・授業づくりを学年部会で進め、授業公開と研究協議を通して、授業改善に努める。 ・外部講師や指導主事等を指導・助言者として招聘し、研究を深める。 ・教員一人一人の授業改善、授業力向上のために計画的に授業研究を行い、互いに学び合う。 ・小中学校間の交流に努め、地域の児童・生徒の課題を踏まえた連携の充実を図る。 |
| 取組事例 | <p>①公開授業</p> <p>②講師招聘 田村 学 氏（文部科学省 初等中等教育局 主任視学官） 「学びの共同体」と「主体的に学習に取り組む態度の育成」について 渡辺 弥生 氏（法政大学教授）「子どもの発達との関わり方」ほか</p> <p>③学びのアンケート実施 ④小中合同研修会</p> | 取組事例 | <p>①公開授業</p> <p>②講師招聘 溝越 勇太 氏（筑波大学附属小学校教諭） 「授業のユニバーサルデザイン」</p> <p>③学びのアンケート実施</p> <p>④小中合同研修会</p> |